

## 合同支部会が開催された

11月16日(土)午後から17日(日)にかけて今年で12回目の合同支部会が箱根湯本温泉「ホテルおかだ」において開催された。岸部理事長の開会の挨拶の後、組合員への連絡事項として、賛助会員の大日本塗料(株)・(株)アック・ダイニッカ(株)、(株)アマダマシンツール、コンドーテック(株)、フルサト工業(株)が、それぞれ新商品の紹介や商品の特性



などの説明をし、PRした。組合からは「BCP(事業継続計画)の策定」と「SDGs(持続可能な開発目標)の取組み」について、辻総務委員長から自社で取り組んだ経験に基づく説明があった。研修会は、週刊鋼構造ジャーナル記者の桑野祐滋氏を講師に迎え、「鉄骨市場の現状と展望」という演題で開催された。(要旨は別掲)オリパラ後も、インフラの老朽化対策や大規模プロジェクト着工等により、鋼材需要は落ち込まないとの展望が語られた。

その後、休憩をはさんで賛助会員との交流懇親会が行われ、日頃からの親睦を一層深めることができた。

参加者は組合員31名、賛助会員17名、講師1名、事務局2名と今年も盛況であった。



参加者で写真を欲しい方は、お申し出ください。データでお送りします。

## Mグレード部会開催

11月13日(水)15時から組合事務所で13社が出席し、開催された。10月に実施された会員間での工事請負価格実態調査の集計結果(19社が回答)が発表された。50tクラスでの工作図・材料・工場加工・塗装・検査・建て方・運搬・現場加工などの鉄骨工事、アンカーセット・床・階段・胴縁・スリーブなどの付帯工事及び現場鍛冶・鳶工事と詳細にわたる価格調査で、見積価格でなく実際の取り決め価格なので大いに参考になるものであった。前回との比較ができるようにするため、回答社には前回集計結果も併せてメールで送付することとした。



## 研修「鉄骨市場の現状と展望」要旨

### 【鉄骨市場の現状】

- ・鉄骨需要は五輪関連施設や首都圏再開発案件を中心に堅調を維持してきたが、足元は盛り上がりを欠く展開に。
- ・大規模案件の端境期に、人手不足や高力ボルト調達難等による中小物件の工程遅延などが重なった。
- ・首都圏や北海道などの一部地域を除き、前年に比べて地場物件の動きが緩慢。
- ・ファブ各社の稼働率は比較的高めを維持し、Mグレード以下のファブも年明け以降まで受注残を抱える。

### 【今後をどう見る？3つのシナリオ】

- ・国内の少子高齢化・人口減少傾向(生産年齢人口の減少)、不安定な政治経済的要因(米中貿易摩擦、日韓問題等)に伴う世界的な景気減速感→建設投資、鉄骨需要は緩やかに縮小？
- ・建設投資は横ばい、もしくは緩やかな増加基調が継続(建設経済見通しなどの論調)？
- ・堅調な大規模プロジェクトの相次ぐ着工に加え、既存建物ストックの老朽更新需要が顕在化、「オフィスビル建て替えバブル」到来か？

### 【今年度と来年度の建設投資見通し】

- ・2019年度は62兆2,100億円、前年度比で微増(2.2%増)。
- ・2020年度は62兆7,100億円、前年度比で同水準(0.8%増)。
- ・民間建設投資 非住宅投資：2019年度は前年度と比べて微増(1.9%増)。2020年度は前年度と比べて微増(2.9%増)。
- ※2019年9月分より建築物リフォーム・リニューアル投資(政府・民間)を計上している(約7兆円規模)。

### 【今後の建設需要動向】

- ・国内の主な大型インフラプロジェクトが民間非住宅投資を下支え。
- ・リニア中央新幹線(東京～名古屋)総投資額5.5兆円(2027年開業予定)、同(名古屋～大阪)同3兆円(2045年開業予定)。
- ・東・中・西日本高速道路大規模更新 同3兆円(2015～29年)。
- 中期的には、政府建設投資を中心とした維持・更新関連の工事の増加や、民間非住宅部門を中心に東京オリンピック・パラリンピック後も大型プロジェクトの工事が建設需要をけん引。

次に、各社の山積み及び市況情報の交換を行った。手持ち量は、耐震・学校・駅関係が多く、来年の3月頃まで確保している社が多い模様。オリンピック後の激減を心配する声があった。ボルト不足問題はひとまず落ち着いている模様。



## 固形エンドタブ技能検定の実施

11月2日(土)9時から、全国Mグレード部会連絡協議会による固形エンドタブ技能検定が、神奈川県立西部総合職業技術校(秦野市)において行われた。堀川会長(千葉)のあいさつ、石井副会長(神奈川)の試験の流れ、注意事項の説明後、新規受検者は座学を受け、更新等受検者は実習場へ向かった。受検者は、新規12名、更新等は30名の合計42名。所属組合別で見ると、神奈川が23名、群馬が10名、東京が6名、千葉が3名であった。実習場のガスシールドアーク半自動溶接機のうち1基を組立に、4基を溶接に



使い試験体を仮組後、受検番号を刻印してから本溶接に入った。溶接終了後、立会検定員が外観検査を行い、後日超音波探傷検査、マクロ試験を行って最終判定が下される予定である。

当日は、堀川会長、石井副会長の他、谷村副会長(東京)、神奈川から青柳、小原、糀、寺嶋の4氏が運営に携わった。



会場をご提供いただき、当日も立ち会ってくださった神奈川県立西部総合職業技術校の古川先生と石黒先生、ありがとうございました。

## 青年部の横顔

No. 23



(有)斎藤鉄工  
工事部長 斎藤 毅  
綾瀬市上土棚中3-5-8  
TEL 0467-84-9845  
FAX 0467-84-9846  
E-mail  
saitoutekkoh-3@ktb.  
biglobe.ne.jp

弊社は父が平成9年に横浜で創業し、平成29年に工場を綾瀬に移しました。鉄骨製作から現場建て方、現場付帯工事まで一式行っています。

当社は少ない人数の中で如何に正確に素早く丁寧に工場製作や現場取り付け出来ることを、日々考えながら仕事をこなしています。全てパーフェクトで現場に納めるということを、当社全員が共有し打ち合わせして、確かな物造りを心掛けています。

自分は入社して8年目になり、材料発注から仮組、溶接、仕上げ、現場納めまでしています。人数が少ないため、毎日ハードワークですが、綺麗に納まった時が一番の喜びです。自分に任せたら絶対という高みを目指し、勉強しスキルアップしていきたいと思えます。

趣味は草野球で、友達とチームを作り、週末は試合をしています。野球をした週明けは筋肉痛で体が動きません(笑)。最後に、子供に野球少年になってもらうのが、自分の夢です。

## 関東支部女子職員研修会 【小宮】

令和元年11月13日(水)、8組合9名の参加により関東女子職員研修会が行われた。女子研修会が復活して6回目の開催となる今回は、千葉が担当県となり、東京ディズニースーに隣接するミラコスタ「シルクロードガーデン」での開催となった。

あいさつされた小林千葉県事務局長の退席後、女性陣だけとなり、店側に促されパレードを目前で見学。打ち解けた雰囲気のまま会議。組合員さんへの連絡はFAXかメールか?等々細かな事務処理等の発言が活発に行われた。おいしい食事とともに会話も弾み、今後の情報交換につなげるためLINEのグループを作成し、お開きとなった。

